

富士川町

第47号

令和4年(2022年)1月25日発行



# 議会だより

## 新年を迎えて

(1月1日 穂積区林道からのご来光)

### 12月の定例会

- 定例会で決まったこと…………… 2 P
- 委員会報告・組合議会報告…………… 5 P
- 6人が町の課題を問う…………… 6 P

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



# 12月定例会で決まったこと

令和3年第4回定例会を12月10日から17日まで8日間の会期で開催し、条例改正案4件、補正予算案11件、道路認定案2件、議会発委案1件を可決、認定した。また、議員辞職に伴い、議長選挙など議会構成の再編を行った。

**補正予算額 2億7661万円**  
**補正後の予算総額 105億3443万円**

## おもな一般会計補正予算

子育て世帯臨時特別給付金給付事業	1億9603万円
中山間地域等住宅用地取得補助事業	160万円
障害者自立支援給付事業	3475万円
つくたべかんファン交換等工事	248万円
事業者支援応援事業	1681万円
防災行政無線子局受信装置修繕工事	254万円
旧鰯沢プール排水路撤去工事	300万円



厨房ファンを交換するつくたべかん

## 長澤 健議員 辞職

12月17日、長澤 健議員から辞職願が提出され、地方自治法第126条の規定に基づき、議会の同意を得て辞職しました。

## 常任委員会など議会構成の一部を変更

### 広報常任委員会

委員長	秋山 稔 (新任)
副委員長	秋山 仁 (新任)
委員	井上 光三 (新任)
委員	小林 有紀子 (新任)
委員	成田 守真
委員	望月 眞

### 議会運営委員会

委員長	井上 光三 (新任)
副委員長	堀内 春美 (新任)
委員	青柳 光仁 (新任)
委員	小林 有紀子
委員	秋山 稔
委員	望月 眞

### 峡南医療センター企業団議会

議員	青柳 光仁 (新任)
----	------------

## 新たな役職を決定

### 議長就任あいさつ



議長 山岡 洋平



副議長 青柳 光仁

昨年の官製談合事件により、町民の皆さまの町政に対する信頼が低下している中、議長という職はとても重く責任重大ではありますが、これまでの議員経験を活かして、まずは、議会の意識統一をし、議員が一丸となって、現在の混乱を最小限にしていきたいと思っております。町民代表の立場から、適正な町政運営が行われているか、チェック、監視しながら、議論の場を第一とし、信頼される議会、開かれた議会を実行し、町民からの信頼回復を図っていく所存であります。

新町長も就任し、富士川町は新たな成長の年となります。議員の任期は残り三か月です。職責を全うする覚悟でありますので、今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 議員定数 1人減 14人から13人に

## ●議員の定数を定める条例の一部改正

- ・次期町議会議員選挙から適用。

議会改革特別委員会では、議員定数について議論を重ねてきた。委員会で討論し、採決結果は7対4で1人削減を決定し、12月定例会に上程。議員の資質向上と議会の機能強化を図ることとした。

## 定例会での採決結果

### 【賛成者】

秋山 仁、井上和男、望月 眞  
秋山 稔、成田 守、小林有紀子  
青柳光仁、堀内春美、鮫田洋平  
井上光三

### 【反対者】

笹本 壽彦

## 条例改正4議案が 提案され可決した

### ●国民健康保険税条例の一部改正

- ・全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正。

### ●国民健康保険条例の一部改正

- ・健康保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う改正。

### ●社会体育施設条例の一部改正

- ・富士川いきいきスポーツ公園の夜間貸出しに伴う改正。  
[夜間料金 1時間 2070円に改正]

### ●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令の施行に伴う改正。

## おもな質疑

**問** かじかの湯事業特別会計繰出金296万円の内容は。

**答** 燃料費の高騰による150万円と食材費の高騰による100万円がおもな内容である。

**問** 増穂南小の空気清浄機購入費が54万円と、他校と比較して突出している要因は。

**答** 増穂南小は、コロナ対策として、大小合わせて9台の空気清浄機の購入を希望したためである。

**問** 修学旅行バス等借上料、83万円計上の要因は。

**答** 密を避けるためにバスなどを増やした。コロナ対策として、通常より経費が掛かった部分について、臨時交付金を活用して計上した。

**問** 消防費の防災行政無線子局受信装置修繕事業が繰越明許費とされた理由は。

**答** 小林区地内No.11の基板故障により、受信装置一式の製造・交換に約8か月を要するためである。

**問** 当初予算に400万円を計上されているが、地方公共団体情報システム機構への補正の要因は。

**答** 今回の補正541万円は、マイナンバーカードの交付事業に関わる経費で、国からの補助金を受けて行うもので、当初予算計上とは内容が異なる。



# 第4回 臨時会

## 志村 学町長の 辞職を同意!!

11月29日付けで提出された志村町長の辞職届について全会一致で同意した。

- **町長の給与等の一時差し止め・不支給を承認**  
町長等が刑事事件に関し、逮捕、勾留、それに伴い職務を遂行しない期間の給与等を一時差し止め、または不支給を可能とする条例改正の専決処分を承認した。
- **職員、特別職、議員の期末手当の減額可決**  
人事院、県人事委員会勧告に伴い職員、町長、副町長、教育長、議員の期末手当を減額する条例改正を可決した。

## 入札のあり方について 提言書を提出

議会では、官製談合事件を受け、一刻も早く町民に対する信頼回復のため取り組んでいく必要があるとして、入札のあり方などを早期に検討すべきと協議した。11月30日には、町に次の内容の提言書を提出した。

### 提言事項

1. 指名選考委員会に外部の有識者を配置
2. 指名選考委員会の会議録作成
3. 一般競争入札、随意契約の見直し
4. 公益通報者保護法で内部の職員が監視できる体制



11月30日第4回臨時会を開催し、専決処分承認案3件、条例改正案2件、補正予算案1件を審議し原案のとおり承認・可決した。

### 主な補正予算

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 0円  
(3回目のワクチン接種体制確保のための予算更正)
- 鬼島地区配水管布設替工事 230万円
- 第2保育所給水管修繕事業 40万円



第2保育所給水管修繕工事の様子

# 第5回 臨時会

12月24日第5回臨時会を開催し、補正予算案1件、契約締結案1件を審議し原案のとおり可決した。

### 主な補正予算

- 町長選挙費 1398万円
- 山梨県議会議員選挙費 1066万円

### 契約締結

- かじかの湯温泉ポンプ等購入契約の締結  
契約金額 1303万5千円  
契約の相手 株式会社 ハギ・ポー



# 委員 会 報 告

## まちづくり常任委員会

次のとおり調査・提言を行った。

### 消防行政について

消防団員の確保を図るため消防団員へのアンケート調査を実施した。団員からの回答をもとに、消防行政に対する提言を取りまとめ、10月4日町および消防団長に提出した。

#### 【提言内容】

- ・団員確保について
- ・組織体制について など

### 道の駅富士川について

建設中のバウムクーヘン加工販売施設、農産物加工所増築工事の進ちょく状況を視察した。また、道の駅富士川のさらなる発展を期待して要望書を提出した。

#### 【要望内容】

- ・職員の接客に対する改善
- ・「サービス(アウトレット)コーナー」設置の検討
- ・納入業者のトラブルが発生した場合の対応策の検討 など

### まほらの湯の指定管理について

適正な指定管理料などについて、所管の産業振興課との意見交換を行った。

## ひとづくり常任委員会

子どもたちの体験活動について次のとおり要請を行った。

- ・コロナ禍で体験活動が抑制されている現状をふまえ、教育委員会、校長会などと協議し、これからの体験活動のあり方・充実について要請した。

# 組 合 議 会 報 告

## 峡南広域行政組合議会

10月15日に定例会が開催され、令和2年度補正予算案2件、令和2年度決算認定3件を原案のとおり認定・可決した。

### 令和2年度決算

会 計 名	決 算 額	富士川町負担金
一般会計	17億 7377万円	3億 6026万円
介護保険特別会計	2億 11万円	0円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	864万円	0円
合 計	19億 8252万円	3億 6026万円

## 三郡衛生組合議会

11月2日に定例会が開催され、令和2年度各事業の決算認定3件が原案のとおり認定された。

し尿処理では、人口減少や公共下水道の整備などにより、富士川町の投入量は、対前年約3.1%減少している。

火葬事業では、火葬件数の増加と竣工から17年が経過した施設の設備修繕経費が増加傾向にある。

令和2年度は、実質収支で約1583万円の赤字となり、7502万円を基金に積み立てた。

### 令和2年度三郡衛生組合負担金

種 目	町 負 担 額
一 般 会 計	446万円
し 尿 処 理 事 業	4697万円
火 葬 事 業	2149万円
合 計	7292万円

## 山梨西部広域環境組合議会

10月28日に定例会が開催され、2年度決算認定などを原案のとおり認定・可決した。

### 令和2年度決算

会 計 名	決 算 額	富士川町負担金
一般会計	1億 880万円	880万円



鮫田 洋平 議員

# 問▶ 夜間照明をLEDに

## 答▶ 利用頻度の高い順に整備

### 公共施設運用、整備について

**問** 塩の華は歴史文化施設として整備される。グループ学習などができる場を整備する計画は。

**生涯学習課長** 2階部分にグループ学習の場や地域住民の交流スペースを設ける予定。

**問** 大柳川渓流公園のキャンプ場に指定管理など委託する考えは。

**土木整備課長** 施設の有効活用、適切な維持管理が行えるよう、指定管理による管理運営ができるか検討する。

**問** 桜回廊の年間を通した活用計画は。

**産業振興課長** トレッキングマップに桜回廊を追加し、商店街などを周遊できるルートを設定したマップの作成を進めている。

**問** ふるさと自然塾に指定管理など導入する考えは。

**産業振興課長** 導入も視野に入れ、今後の運営について研究していく。

**問** 町有施設の100%LED化の整備計画は。

**管財課長** 公共施設再配置計画や公共施設等総合管理計画に基づき計画していく。

**問** 増穂小学校夜間照明を優先的に交換できないか。

**生涯学習課長** 施設の利用頻度の高い順にLED化の整備

をしていく。

### 体育施設について

**問** 利根川グラウンド、ゲートボール場のリニア工事終了後の施設利用は。

**生涯学習課長** 土木整備課と都市整備課と協議し検討する。

**問** いきいきスポーツ公園のフィールドとトラックの境に組立式ネットを設置する考え

は。

**生涯学習課長** 現時点での設置は考えていない。

**問** 殿原スポーツ公園の噴水エリアを改修して駐車場にする考えは。

**都市整備課長** 利用状況などを調査して考えたい。

### 投票率向上にむけた取り組みは

**問** 移動期日前投票所の開設など、他事例と同様の取り組みができないか。

**選挙管理委員長** 実績や効果などを参考にし、検討する。

### 県が開校する大学校について

**問** 町はどのように関わることができるか。

**産業振興課長** 町有林を実習場所として活用することや、卒業生には峡南森林組合や地元の実業生には峡南森林組合や地元の実業生には活躍していた人材として、就職先の斡旋についても要望していく。



LED化が望まれる夜間照明 (増穂小)



望月 眞議員

## 問▶新庁舎建設工事の見通しは

## 答▶順調な工事施行に努力していく

**問** 官製談合事件が、新庁舎建設工事に対し影響があるか。  
**管財課長** 11月末現在の建設工事実施出来高は14・5%であり、当初の予定通り順調に進んでいる。今回の事案が新庁舎建設工事に与える影響はないと考えている。

**問** 総合建築設計事務所が関わっていたことによる工事進捗遅れへの影響は。  
**管財課長** 基本設計業務の選定については、審査要領を公告し、外部委員を交えた新庁舎建設基本設計業務プロポーザル審査委員会において適正に審査されている。納品の設計図書・関係書類についても検査を行い問題ないことを確認しているため、本業務への影響はない。施工監理業務は、代表構成員の山形一級建築士事務所と契約し順調に監理されている。

**問** 合併推進債活用への影響はないか。  
**管財課長** 新庁舎建設工事の財源なので、庁舎自体の施工

に不良・欠陥などがなければ問題ないと確認している。

**問** 建築物省エネルギー性能表示制度最高ランク五つ星評価を受け、ZEB認証を取得している。2億円弱の補助金への支障はないか。  
**管財課長** 環境省所管静岡県環境資源協会の補助金交付規

定により、虚偽の補助金申請及び成果品、庁舎に不良がなければ、補助金の解除はないとの見解を得ている。

**問** 現庁舎の現状や地震が多発している現状を考慮すると、整備スケジュールどおり工事を進める必要があるが、現時点での見解は。



新庁舎完成イメージ

### 検証と入札制度の見直しについて

**管財課長** 基本理念「人や環境に優しく町民の安全安心を支える庁舎」のもと、町民サービス・行政効率の向上を目指す機能的で経済性・耐久性のある庁舎、住民協働拠点の人が集い、全ての人に優しく、環境との共生のとれる庁舎、安全と安心を支える拠点となる庁舎を一刻も早く完成させることが、住民福祉に資するので、順調に工事が施工されるよう努めていく。

**問** 官製談合事案の検証と入札制度の見直しは。  
**職務代理者** 12月15日に幹部職員で構成する「庁内入札制度等のあり方検討会」を立ち上げ、検証作業に着手していく。

**問** 外部の有識者などをメンバーに入れるのか。  
**職務代理者** 新町長就任時に検証内容を報告し、意向に添い、必要があれば、外部委員会を立ち上げていきたい。



堀内春美 議員

## 問 庁舎建設を一時ストップ 見直しを

## 答 住民福祉のために 早い完成が必要

**問** 前町長が加重収賄で逮捕された。容疑は平林の農業体験宿泊施設、道の駅富士川、給食センターの収賄となっている。同じ業者に設計業務を委託している新庁舎建設に町民は疑惑を持っている。町民の疑惑を払拭するためにも一時ストップし、精査する必要があると思うが。

**職務代理者** 新庁舎建設については、関係書類に問題がなく、施工業者も一般競争入札で選定し、順調に工事も進まよくしている。県警本部の発表によると、庁舎に関するプロポーザルは官製談合と認められていない。まだ捜査の段階だが無いと考え工事を一時止めることは考えていない。

**問** 庁舎建設の工事を一時ストップして違約金を払うのと、見直して縮小するのと、どちらの方が町にとって良いのか検証し、町民の意見を広く聞く必要があると思うが。

**職務代理者** 平成26年から始まった庁舎建設は、幅広い年代から意見をいただき、段階

的に基本構想、基本計画などを立てながら現在に至っているので、工事を中止して見直すということは考えていない。

**問** 約30億円という立派な庁舎が完成したとして、町民の税金が使われ、借金を若者たちが背負わなければならない。一時ストップしなければ町民は納得しないと思うが。

**職務代理者** 今回の一連の町長の事件に関しては、町の皆様に多大なご迷惑をおかけしていること、申し訳なく感じている。人や環境に優しく、町民の安全安心を支える庁舎を造っていくという観点からも、現在の計画通り、このまま進めさせていただきたいと考えている。

**問** 役場東側の道路廃止で高齢者から多くの苦情がきているが。

**職務代理者** 高齢者の皆さまにご利用いただくためのスロープを設けるといふ計画になっている。



建設中の新庁舎



菅本 壽彦 議員

## 問 バウムクーヘンの 売上げ目標は

答 年間約8千万円を  
見込んでいる

**問** 道の駅富士川の加工販売施設建設費用は総額約2億7千万円以上だが、バウムクーヘンの年間売上げ目標は。産業振興課長 年間約8千万円を見込んでいる。立ち寄り客数約4万5千人、客単価1800円程度として算出した。

**問** バウムクーヘン製造販売は何かきっかけなのか。産業振興課長 道の駅富士川は7周年を迎え、主力である小麦まんじゅう・ねじり菓子以外の新商品として、現在とても人気があり収益性も高いバウムクーヘンを製造販売することとした。

**問** どのような販売施設を参考にしたのか。産業振興課長 栃木県の「道の駅もてぎ」など何店舗かを参考にした。

**問** バウムクーヘンの製造販売はライバル店も増えている。独自の方針・対策は。産業振興課長 自家製粉の棚田米を使用し、地元の柚子や



道の駅富士川に建設中の加工販売施設

卵など地産地消にこだわり、製造工程を見せながらの販売で、他店との差別化を図っていく。

**問** 小麦まんじゅうと、ねじり菓子の年間売上げは約1500万円。新たな厨房機器だけで約4千万円だが、今後の売上げ目標は。産業振興課長 小麦まんじゅう、ねじり菓子それぞれの売上げ目標は設定していない。

他の新製品の開発は。産業振興課長 加工所には新商品開発スペースを整備し、看板商品を開発しながら製造販売を行っていく。

**問** 町内の菓子やパン、ケーキなどを製造している方々の知識や腕を注力して、オール富士川としての新製品開発は考えられないか。産業振興課長 町内の製造業者との新製品開発は考えてい

**問** 完成後の補助金の見込み違いとか増減はあるのか。産業振興課長 国に実績報告を出した後に確定するので、金額が増減することもありえる。

ない。町内菓子店舗と競合しない商品を考えていく。

**問** 小麦まんじゅうなどの賞味期限は約2日だが、今後新加工所では延長できるのか。産業振興課長 小麦まんじゅうなどの賞味期限の延長は考えていないが、焼き菓子などの賞味期限の長い新商品の製造は可能である。

**問** 生産能力が向上するが他への出店や卸業務の考えは。産業振興課長 今他への出店や卸業務は考えていない。

**問** この新施設への国庫補助金の見込額は。産業振興課長 道の駅の新施設と、平林の農業体験宿泊施設とを合わせた補助金内示額は約1億4700万円である。

**問** 完成後の補助金の見込み違いとか増減はあるのか。産業振興課長 国に実績報告を出した後に確定するので、金額が増減することもありえる。



秋山 仁 議員

# 問 町道青柳32号線 未着工部分は

## 答 用地買収後速やかに 工事着手予定

**問** 町道青柳32号線の未着工部分の理由は。  
**土木整備課長** 道路用地の取得が進まなかったことが未着工理由である。現在、未買収の部分の用地交渉を進めており、買収後速やかに工事に着工する。

**問** 最初に完成予定のシミュレーションは描かないのか。  
**土木整備課長** 道路などの用地買収が絡む工事は、地権者の諸事情もあり、買収が進まなければ事業計画を延長せざるを得ない。

**問** 用地買収などの計画を詰めてから着工すべきだが。  
**土木整備課長** 青柳32号線の場合、用地を全て買収した後に着工したのでは、買収完了まで長期間道路用地を放置することになるため、用地買収ができた所から着工している。

**問** 今後の新設道路は、工事期間が延びないように慎重に計画すべきだが。  
**土木整備課長** 新設道路は、

道路の設計が概ね固まった時点で説明会を開き、地権者を調べ登記簿に記載してある情報を確認している。交渉以前に用地買収が困難かどうかの詳細情報は難しい、今後事前に調べられることは調べる。

**問** 道路の完成後、周辺道路の整備は。  
**土木整備課長** 具体的な土地



早期完成が望まれる(青柳32号線)

利用計画はないが、青柳32号線完成後は、増穂インターチェンジへのアクセスが良くなり、大型車両の通行が可能になるなど、周辺の土地利用の選択肢が広がる。

### 不法投棄対策 について

**問** 山間地の不法投棄が減少

していないが対策は。  
**町民生活課長** 町民からの情報提供により、発生現場を調査する。不法投棄者が判明した場合は直接処分を求め、判明しない場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、土地の所有者に、必要な措置をお願いする通知を送り、悪質の場合警察署に相談する。土地の所有者が処分できない場合、峡南地域廃棄物対策連絡協議会へ協力を依頼、または町職員が対応している。

**問** 防犯カメラや看板の増設は。  
**町民生活課長** 住民や関係機関の情報提供により、必要な場所には看板を設置する。また、防犯カメラの設置は案件が発生した場合、防災交通課へ相談する。

**問** 監視カメラを導入する考えは。  
**町民生活課長** 現在の不法投棄の対応を継続し、未然防止に力を入れる。



青柳光仁議員

# 問 財政は健全に維持されているのか

## 答 財政健全化比率からも健全に維持

**問** 令和2年度の実質公債費比率で、県の市町村平均は7.7%。本町は12.3%と広報で発表されたが、県内12町村でワーストワンになった。町の財政は健全と考えるのか。

**財務課長** 財政健全化判断比率の結果が示すように、健全に維持されていると考える。

**問** 早期健全化基準は確かに25%だが、18%以上は公債費負担適正化計画を策定し、地方債の発行に知事の許可を要する早期是正措置が必要になる。広報では25%をイエローゾーンとしているが18%ではないのか。

**財務課長** 早期是正措置としてのイエローゾーンは18%との認識である。

**問** 今後の広報に18%の早期是正措置と、25%早期健全化基準との違いを記載できないか。

**財務課長** 今後掲載したいと考える。

### 将来負担比率について

**問** 令和2年度の将来負担比率は55.3%で、県の市町村平均は27.7%である。今後の返済に不安はないのか。

**財務課長** 早期健全化基準の比率は35%。今後も財政指標等を見極め、安定した財政運営に努めながら、財政見通しにより判断することから不安はない。

**問** 現在完成したもののや進行中の、7大事業に関する起債は5年据置25年返済で実施しているのか。

**財務課長** 合併推進債を使う場合、5年据置25年償還となる。

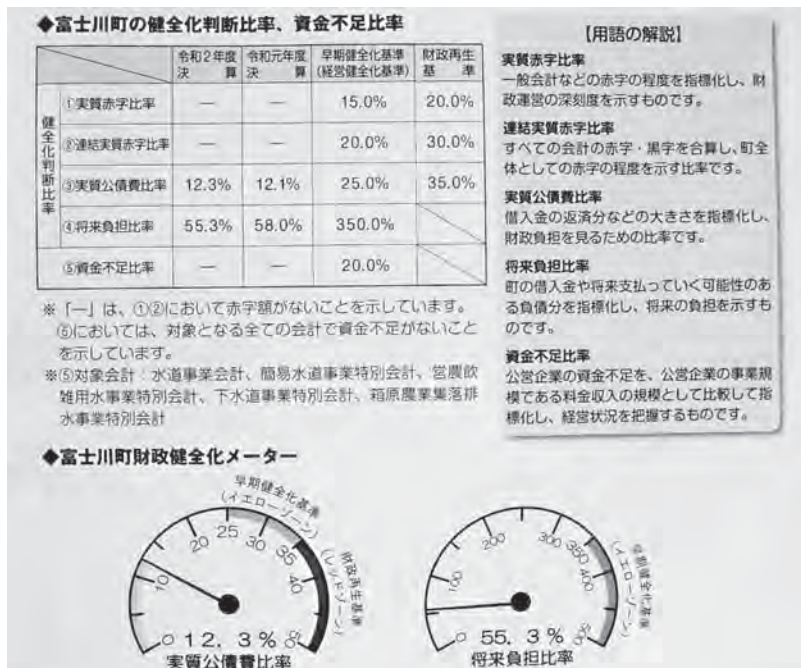
### 基金について

**問** 広報の令和2年度決算の基金は、32億9300万円だが、これは特別会計など目的の基金も含まれる。一般会計部分の残高は27億8千万円

だが、今後の積み立て予測は。財務課長 一般会計で管理している基金は12基金ある。基金は状況により変動するので正確な予測はできないが、現年度の残高を維持していくよう取り組みたい。

**問** 公共施設整備基金などの目的基金が令和7年には8億円減少すると見込んでいたが、庁舎関連基金か。

**財務課長** 体育館など公共施設を見込んでシミュレーションしたが、現段階では取り崩さないとした。



町の財政健全化（広報ふじかわ掲載より）

# わが区の自慢!!

●このコーナーでは、各区の誇れるもの、活動などを紹介していきます。

## 長澤区

コミュニティ紙で  
情報発信

～長澤区38年の歩み・長澤公民館とともに～

長澤区は、町の北部に位置し、南北を縦断する県道42号と、かつてポロ電で知られる旧山交電鉄が運行されていた廃棄道を中心に発展してきました。

昭和58年、第41回国民体育大会秋季大会が昭和61年に山梨県で開催されることとなり、他県の選手団を受け入れるため、老朽化した長澤公民館を建て替えるよう、公民館建設計画が進められていました。また、この当時は、全国各地で「地域づくり」や「まちづくり」が盛んに叫ばれ、地域のコミュニティ活動の推進と地域住民の一層の融和が求められている時でもありました。

こうした中、地域の話題や活動を広く区民の皆さんに情報発信するため、区民の皆さん総参加のもとに、「長澤公民館だより ながさわ」を発行することとなりました。

公民館だよりの発行に当たっては、発行責任者を公民館長とし、編集委員会を設置しながら、隔月(偶数月)の発行を続けています。記事集めに区内を奔走する

ことや、取材・編集で苦勞することもあります。多くの区民の方々と接しながら楽しく活動を行っています。令和4年2月号で通巻231号を発行し、長澤公民館とともに足掛け38年の長い時間を歩んできました。

区民の皆さんや取材協力いただいた関係者の方々のご理解とご支援により、これまで発行を続けることが出来ましたことに、深く感謝申し上げますとともに、今後も、地域の話題を中心として地域コミュニティ紙として、また、区民の皆さんの心のよりどころとなるよう、発行を進めていくとしています。

### 区の概要

人口 1,977人 男 1,014人  
女 963人  
世帯数 831戸  
(令和4年1月1日現在)



創刊号 (S58.8) 最新号 (R3.12)

## 大柵区

区民大運動会

～地域の絆を深めよう～

大柵区には、50年以上前から連綿と受け継がれている行事として、毎年11月3日に開催される区民大運動会があります。体育委員が中心となってプログラムを編成したり、種目に必要な道具や賞品を準備したりなど、大会役員は大変ですが、「運動会当日に皆さんの笑顔を見ると、その苦勞も吹き飛んでしまいます。」と言いながら、運営を担当してくれます。種目は、高齢者や幼児の宝拾い、夏祭り踊る甲州盆唄やよっちゃばれ踊り、町の体育祭で競う種目などがあり、参加者全員で運動会を盛り上げます。昼食時には、区役員が前日から準備してくれるおでんやお弁当を食べながら憩いのひとときを過ごします。この時間こそが、地域の絆を深める好機となっています。

また、夏祭りや三世代交流会、新年互礼会、敬老会、囲碁ボール大会などの地域の楽しい行事を通して、温かい人間関係を育みながら、区民同士の絆をつな

いでいます。

地域の絆を深めることは、子どもたちの健全育成、高齢化対策、犯罪防止にもつながります。また、災害時の自助、共助、公助にもつながり、災害対応力を高めることもできるのではないのでしょうか。

(なお、令和2、3年は、新型コロナまん延防止のため多くの行事を中止しました。)



子どもたちの応援に大人もパワー全開です!!

### 区の概要

人口 586人 男 277人  
女 309人  
世帯数 236戸  
(令和4年1月1日現在)